

BT-DCSRロータリーバルブ バージョン 2.0

BT : Blow Through ブロースルータイプ

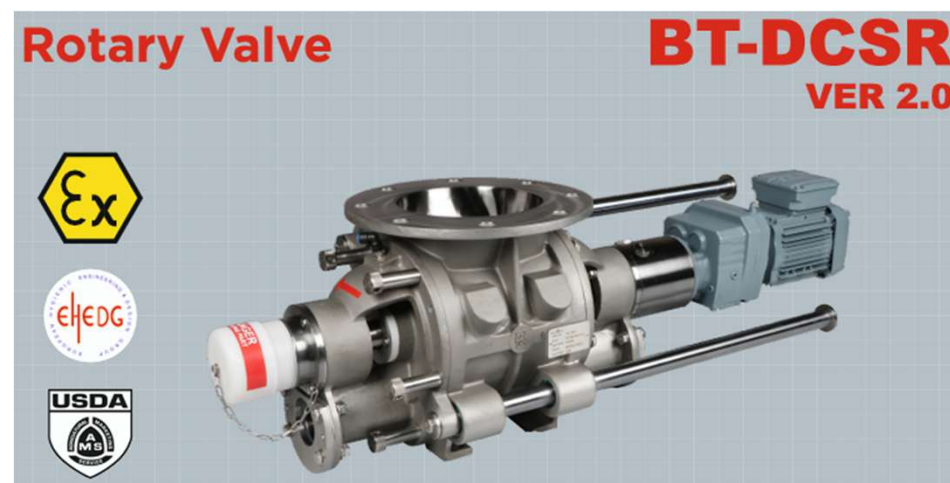
DCSR : Dairy Cross Slide Rails 乳製品と食品分野で主に使われる衛生バルブ

洗浄作業が簡単

ブロースルータイプの
DCSRロータリーバルブ バージョン2は、食品、乳
製品、医薬品業界での粉末、顆粒、ペレット形状の
製品の空気輸送のために特別に設計されました。
様々な産業におけるバルク材料の効率的な搬送に使用
されます。

バージョン2.0は、バージョン1.0と比べ、操作とメン
テナンスの面でユーザーに使いやすく改良されてお
り、また、より高いレベルの衛生環境が必要とされ
る分野に適します。

クロススライドレール（CSR）がついているので、
ローターとエンドカバーの外しが楽で、**洗浄のため
のローター回転が可能**で、ダミーシャフト部分がク
リーンな状態で維持できるので、ローターが止まる
こともないです。詳しくはこの資料の最後のページ
を参照願います。



ATEX認証取得



EHEDG認証取得



USDA認証取得

BT-DCSR バージョン 2.0の特徴

簡単なメンテナンス

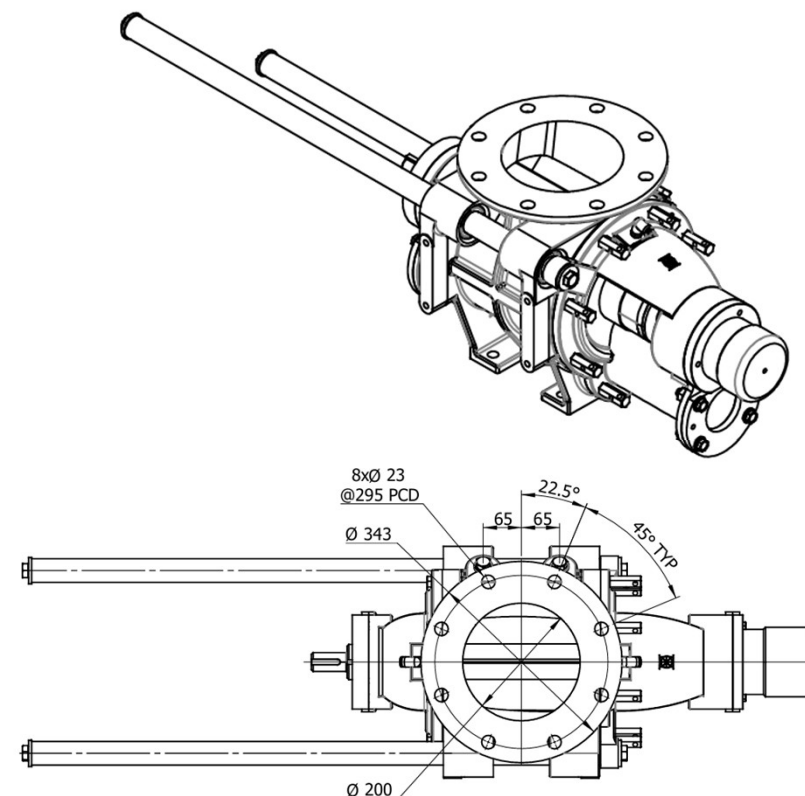
ロータとエンドカバー(End Cover)が簡単に取り外せ、迅速かつ容易な清掃が可能で、中断のない稼働とダウンタイムの最小化を実現します。引き出した状態でローターを回転させて清掃できるのがバージョン2.0の特長です。

高効率設計

優れたスロート開口部と角度により、最大の充填効率を確保します。150mmから350mmまでのサイズがあります。標準DCSR回転バルブは、250mmサイズまでは固定8枚羽根ローター、300mmと350mmサイズは固定9枚羽根ローターを採用しています。

用途に合わせた設計

製品と用途に応じて異なるタイプのシャフトシーリングが提供されます。空気漏れを低減し、10バーの圧力衝撃に耐える設計です。また、USDAおよびEHEDGの厳格な基準を満たし、希薄相輸送に最適な製品です。加圧と真空両方に対応。



BT 200 DCSR Ver 2TE_Bare Shaftの参考図面

BT-DCSRロータリーバルブ バージョン 2.0はここが違う

Ver 2ロータリーバルブは、マーケットで他に類を見ない先進的で独自の設計です。

主な利点：

- **テーパー設計：**

ハウジングとローターの両方がテーパー状になっているため、洗浄時にローターをハウジングの内径に触れることなく押し込んだり引き抜いたりすることができます。この設計により、ハウジングに傷や損傷を与えるリスクが排除されます。

- **ベルビルワッシャー不要：**

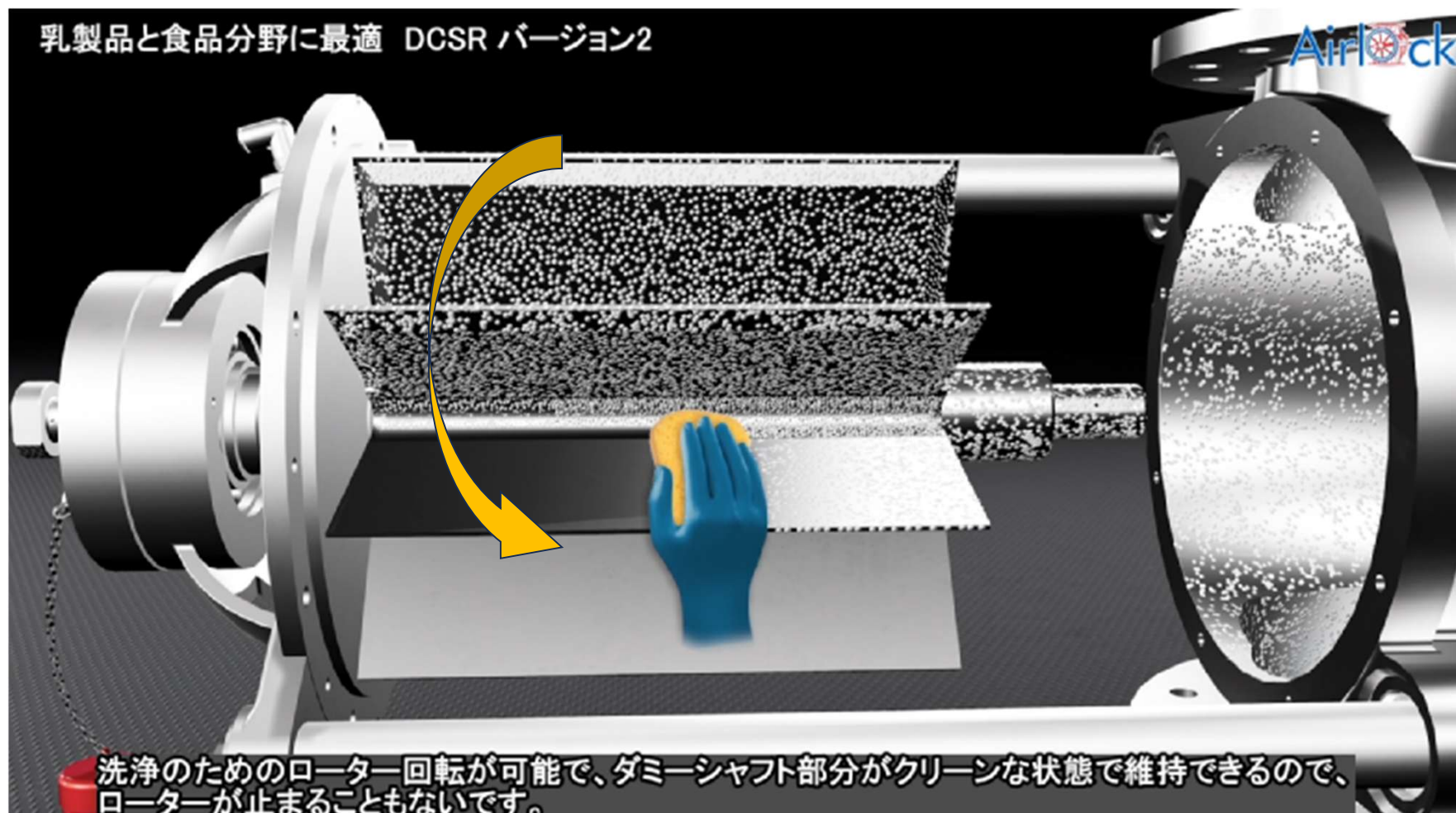
ベルビルワッシャーが不要になり、メンテナンスが簡素化され、信頼性が向上します。

- **工場出荷時のクリアランス設定：**

バルブは工場出荷時にクリアランスが設定されているため、安定した性能が保証され、現場での調整が不要です。

- **洗浄作業が簡単：**

スライドレールを使用しているので、完全に分解することなく簡単かつ徹底的な洗浄が可能です。ローターを回転させながら洗浄することもできます。



認証と材質



ATEX認証

爆発性雰囲気での使用に関する欧州指令に準拠しています。



USDA認証

米国農務省の基準に適合した食品安全性を確保しています。

衛生が最優先される業界に最適です。



EHEDG認証

欧州衛生工学設計グループの衛生基準に準拠しています。



材質と仕上げ

- ・ ステンレス鋼316製
- ・ 製品接触面は0.8μm（150グリット）仕上げ
- ・ オプションで0.4μm仕上げも可能



安全性の向上

- ・ ロータとエンドカバーの簡単な取り外しのためのクロススライドレール（CSR）
- ・ ロータシャフトとドライブシャフトの位置合わせが容易



ATEX認証取得



USDA認証取得



EHEDG認証取得

BT-DCSR バージョン 2.0 の用途

希薄相空気輸送

粉体、顆粒、ペレット状の製品を効率的に輸送します。
加圧・真空のどちらの操作も容易に処理し、材料処理の
ニーズに答える汎用性を提供します。

産業用途

乳製品、食品、化学、プラスチック、ペットフード、製薬
業界などのドライバルク材料取扱産業に最適です。

衛生要件

衛生基準が厳しい環境での使用に適した乳製品衛生シール（DSS）を備えています。
高い衛生基準が要求される業界に適した設計になっています。

設計仕様とオプション

サイズ範囲

150mmから350mmまでのサイズをご用意しています。

フランジ規格

DIN / ANSI / JISフランジ穴パターンに対応しています。

動作温度

最大150℃までの環境で使用可能です。
更なる高温環境での使用に対応した改良が可能です。

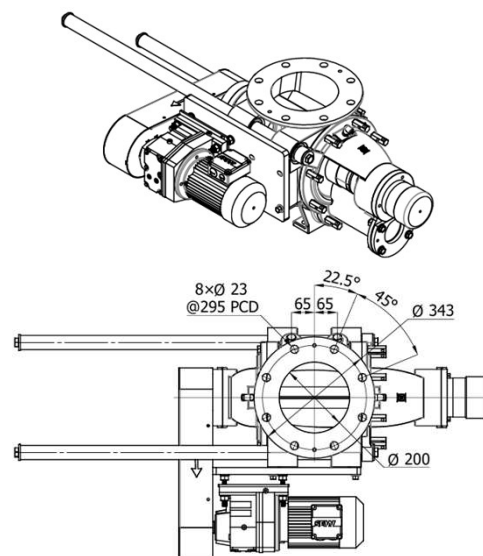
衛生基準

衛生基準に準拠した設計となっています。

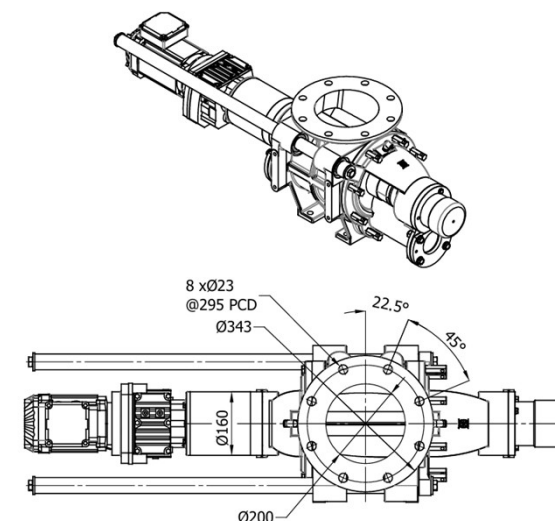
駆動方式

チェーン駆動と直接駆動の両方に対応しています。

BT φ200 DCSR Ver 2TE_Chain Driveの参考図面



BT φ200 DCSR Ver 2TE_Direct Driveの参考図面

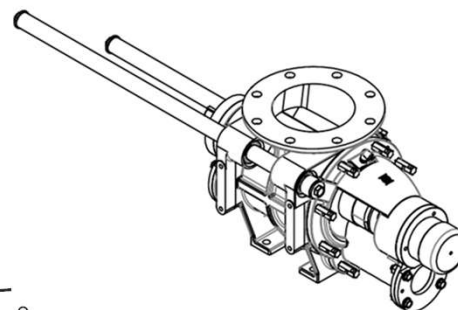


センサーオプション

ゼロスピードセンサーとローター干渉センサー（RIS）を装備可能です。

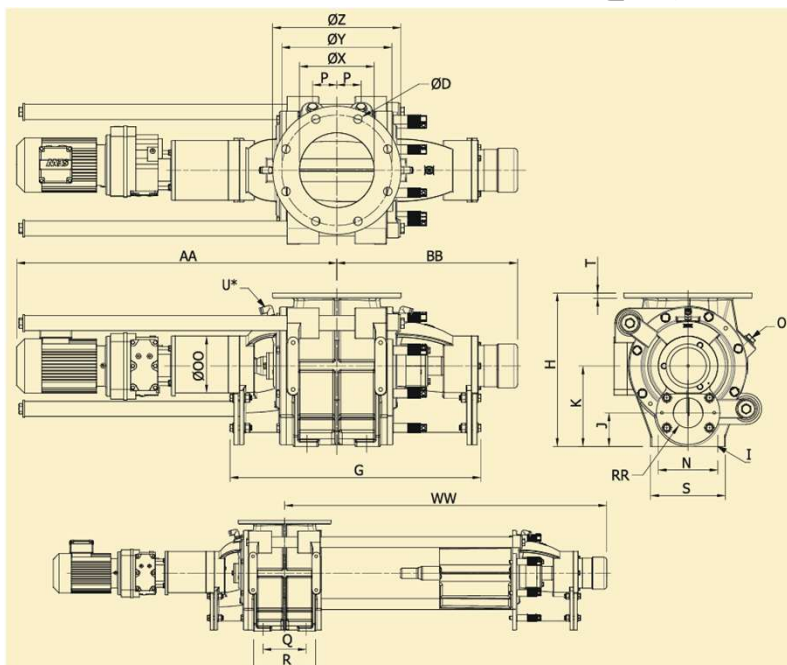
その他のオプション

圧カレギュレーター、フローメーター、インレットリストラクター、ATEX / IECEx規格の電気部品などをご用意しています。



技術仕様と寸法

BT-DCSR バージョン 2.0ロータリーバルブは、
150mmから350mmまでのサイズをご用意しています。



行程容積		DIN			ANSI									
Size	Swept Volume m ³	ØX	ØY	ØD	ØZ	ØY	ØD	H	I	J	K	N	P	Q
150	0.003	150	240	8xØ23	285	241.3	8xØ23	295	4xØ12	65	155	110	40	100
175	0.006	175	270	8xØ23	315	-	-	340	4xØ12	75	175	130	53	130
200	0.011	200	295	8xØ23	343	298.4	8xØ23	410	4xØ18	90	215	160	65	160
250	0.019	250	350	12xØ23	406	361.9	12xØ25.4	470	4xØ18	100	245	170	75	200
300	0.034	300	400	12xØ23	483	431.8	12xØ25.4	565	4xØ23	120	295	190	95	260
350	0.058	350	460	16xØ23	530	476.2	16xØ28.6	665	4xØ23	132	335	220	112	310

Size	R	S	T	U* (BSP)	O (DAIRY) UNEF	G Dairy	RR Dairy	G	RR (Max)	AA	BB	ØOO	WW	Type SEW
150	154	140	12	¼"	1 ⅝"	495	35	460	50	715	350	120	760	RF 37
175	190	160	14	¼"	1 ⅝"	545	50	505	65	740	370	120	880	RF 37
200	230	200	14	¼"	1 ⅝"	695	50	650	80	860	490	160	1130	RF 47
250	274	210	16	¼"	1 ⅝"	745	70	700	100	940	510	160	1190	RF 47
300	350	240	21	⅜"	1 ⅝"	855	100	810	125	1015	580	200	1430	RF 57
350	410	270	26	⅜"	1 ⅝"	930	125	885	150	1190	620	200	1670	RF 67

* エアーパージコネクション

すべての寸法はmmです。仕様は予告なく変更される場合があります。

BT-DCSR バージョン2.0ロータリーバルブは、その高い効率性、信頼性、および多様な用途により、空気輸送システムにおける理想的な選択肢です。
詳細については、輸入販売元である株式会社SK Art にお問い合わせください。 info@skart-corp.co.jp

乳製品（Dairy）CSRバージョン1.0とバージョン2.0の違い

バージョン1.0



バージョン2.0



多くのヨーロッパのメーカーが採用しています。

高い衛生基準を満たす新開発の設計（特許出願中）

洗浄を容易にするために、斜めのクロススライドを備えた乳製品規格向けに設計されています。

洗浄を容易にする斜めクロススライドを備えた乳製品基準向け設計

クリアランス設定には特殊工具が必要です。

クリアランス設定に特別な工具や技術は不要

クリアランス設定には特殊なスプリングワッシャーが必要です。

スプリングワッシャーは不要です。製造時にバルブにクリアランスが設定されています。

洗浄のためにエンドカバー付きローターを取り出すには、別の工具が必要です。

ローターの取り外しに別途工具は不要です。

ローターを回転させて洗浄することはできません。

ローターを回転させて洗浄できます。これにより、作業員の洗浄作業が容易になります。

ストレートボアとストレートローターのコンセプト
（バージョン1の一般的な問題は、バルブの開閉時にローターがボディボアに接触する傾向があることです。ボディボアに傷跡が残ります。ボディボアに傷跡があると、USDA/EHEDG/ALL Dairy Standardsの検証が無効になります。）

テーパローターとテーパボディのコンセプト（バルブの開閉時にローターとボディが接触することはありません。CSRを備えた乳製品バルブ向けに特別に設計されており、ボアへの傷を防ぎます）

ローターシャフトをダミーシャフトに噛み合わせるのが難しい。

ローターシャフトとダミーシャフトの噛み合わせが容易です。

ダミーシャフトとローターシャフトの間に製品が堆積する可能性が高くなります。
また、乳製品業界では衛生的な方法ではありません。

ダミーシャフト領域を常に清潔に保つように設計されています。
ダミーシャフトへの製品の侵入は不可能です。

ダミーシャフト部分に原料が大量に堆積すると、ローターの回転が停止します。

バージョン2TEでは、左ような不具合は発生しません。